



## 【前期課程(文系)部門】

### 駒場アカデミック・ライティング・センターでのチュートリアルの方針

本センターは対話ベースのチュートリアルを通じて、レポート作成や発表に関する様々な相談に応じます。例えば、文章全体の構成、論理展開、引用(本文中の引用、文献リストの適切さなど)、表現・語彙選択などについて相談できます。発表の練習をすることも可能です。また、テーマの構想について、チューターと一緒にブレインストーミングをすることもできます。しかしながら、校閲やネイティブチェックを行うわけではないので、注意してください。

チュートリアルは自分で改善し、自律的に書き進められる‘よい書き手の育成’を目指し、以下の方針に基づいて行います。

1. 相談者が取り組んでいる課題の内容と相談内容をチュートリアルの初めに丁寧に確認します。その上で、相談者が最も改善したい点を中心に議論しながら、考えていきます。相談時間は1セッション40分と限られているため、相談者は相談したいこと、解決したいことを明確にしておいてください。
2. 初回のチュートリアルでは、相談の内容を把握することに努めます。したがって、1回のチュートリアルでは問題解決できず、今後の計画を立て、チュートリアルを継続して利用することを提案する場合があります。
3. チュートリアルでは、アカデミックな文脈に必要な論理性やわかりやすさなどの観点から、文章または発表に関する相談に対応します。具体的には、論理展開に加え、文または文章の間のつながり、内容の一貫性、引用の適切さ、文型や表現・語彙選択の正確さなどについて相談できます。ただし、専門用語の適切さなど、特定の専門分野の内容については、チュートリアルでは責任を負いません。
4. チューターは、文・文章を読んで一語一句修正することはありません。また、勝手に修正・追加することはしません。問題点と改善案について、対話をしながらチューターと相談者が一緒に考え、‘良い書き手’の育成を目指します。
5. チューターは問題点を指摘したり、改善の方向性を提案したりしますが、最終的な選択と判断は書き手である相談者に任されています。
6. 原則として相談者の専門分野に特化した内容への助言は行いません。
7. 書式やフォーマットなどの課題の規定については授業を担当している先生の指示を必ず確認しておいてください。
8. 本センターはレポートや発表の評価、授業の成績に対する責任を負いません。

以上の方針に同意いただいた上で、チュートリアルの利用をお願いいたします。